



# 清 新

題字・中村昭一

No 15  
2013.7

青山ゆたか市議会だより

発行・青山ゆたか事務所

横手市平和町11-1

電話・FAX 0182-32-1445



青山ゆたか

6月17日

## 一般質問要旨



### 市長公約について

#### 質問

市長の任期満了まで残りわずか。公約の達成度を検証する時期にきている。10の公約の中から「商工業の振興と雇用拡大への取り組みを強化します」について取り組み、成果、課題、今後の見通しを問う。

#### 答弁

企業誘致については、進行中の案件を含めると今年度中に5社が新規立地による操業を開始し、80人程の新規雇用が見込まれる。発酵関連産業へのアプローチは進展していない。

観光面では、海外誘客について、香港・シテイスーパードの物産販売、韓国・ソウルでの出前かまくら、台湾・台日鼓舞節でのぼんでん参加等、直接海外に向向いてPR活動をした。市内における活動は韓国ドラマ「アイリス」の撮影協力、雪まつりでのインドネシアかまくら等の活動が海外での横手市の認知度に寄与しており、着実に外国人観光客の増加に結

びついていると確信している。

地元商業活動への支援については、「魅力あるお店づくり支援事業」や「起業創造支援事業」を行い、他にも商工団体等が実施する事業への助成、中小企業への融資斡旋による利子・保証料助成で地域活性化や事業継続につなげた。

#### 質問

進展しない発酵関連産業の誘致・起業にたどりつくには研究所を集積させる「発酵バレー」のような大きな構想を打ち出すことも必要ではないか。

#### 答弁

その事でどういうビジネス展開が図られるか、発酵文化研究所とよく相談したい。

#### 質問

そもそも、どのくらいの外国人観光客が来ているという現状把握のデータがないし、目標数字もない。それでは効果的な戦略にはならない。ホテル・旅館に協力を仰げば大まかでもつかめるはずだ。

#### 答弁

今年度から市として調査を実施する。トレンドをみることで具体的な数値目標が立てられるし、事業の成果検証の資料にもなる。

#### 質問

海外誘客は東アジアに的を絞っているが、外交上の問題で観光客が減るリスクもあり、そこだけに頼るのはどうか。東南アジアや南アジアに対する誘客の検討も始めるべきだ。



▲インドネシアかまくら

#### 答弁

国際交流かまくら事業を検討しており、5ヶ国程度の参加を計画している。また、イスラム圏における受け入れ体制を研究している。市単独でなく県をも超えた中で取り組む必要性を感じている。

#### 質問

地元企業に支援メニューをダイレクトに伝えるための工夫をもっとすべきだ。

#### 答弁

ターゲットを絞って情報発信効果を高めることは有効だと思う。

#### 質問

商工業支援のスタンスを表明するために、先んじて動いている県の内容を注視しながら中小企業振興条例を検討すべきだ。

#### 答弁

商工業を支援するのは当たり前すぎる話なので今まで検討してこなかった。条例化することの意味や、県が検討している条例の中身をみながら、担当課と協議したい。